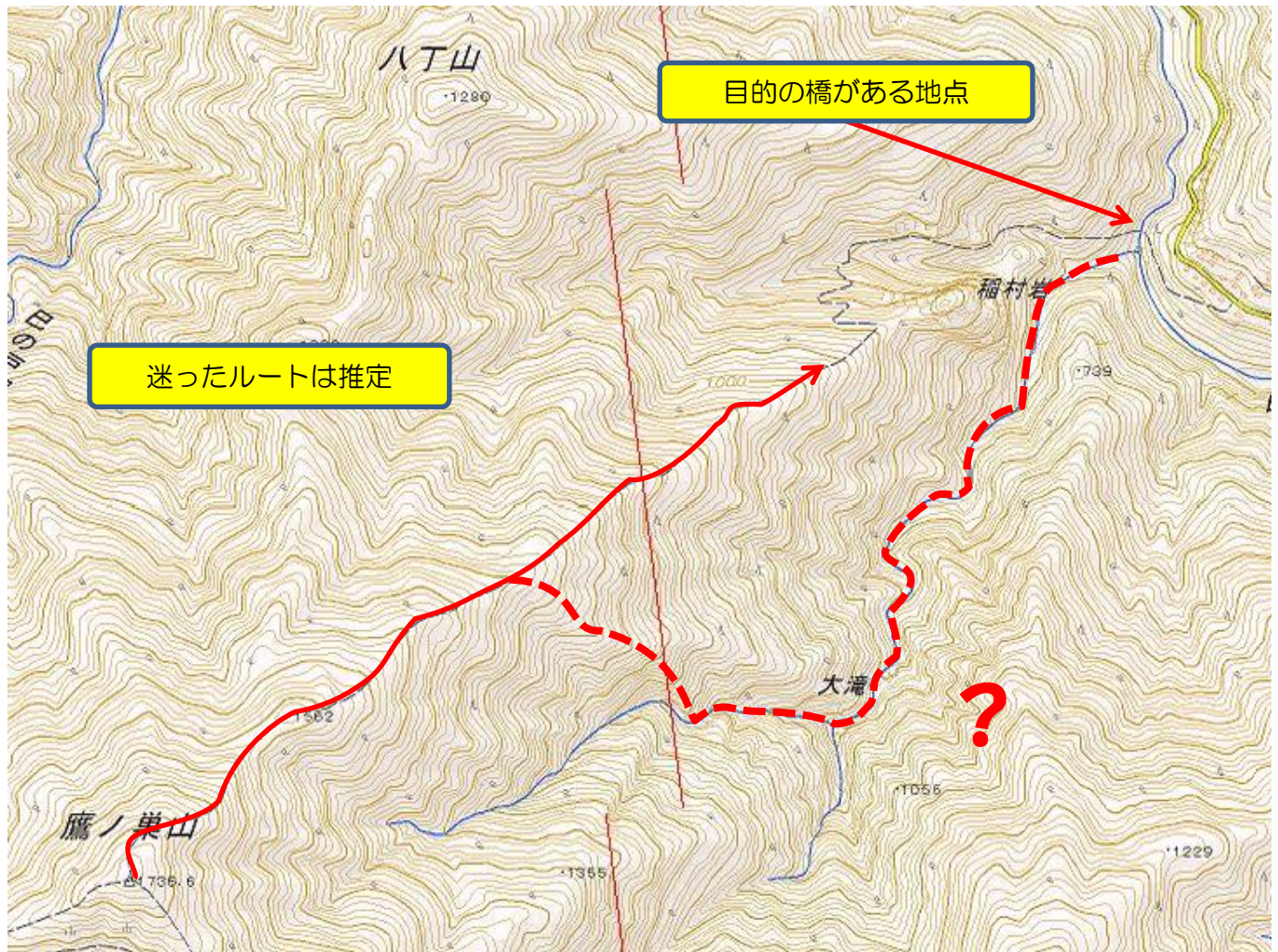


鷹ノ巣山道迷い(2016年4月)

鷹ノ巣山からの下山で道なき道を下る。沢に出たが、目的地ではない。やむなく道なき沢を下り登山道にすることができた。



解説

横に広々とした道なき道を土にのめり込むように降りた。斜面はどんどん急になる。地図を見ながら、「確かにこれは尾根だ。」と自信を持って歩いていくものの、進むにつれて不安になる。足だけでは降りられなくなり、岩や根っこに掴まりながら降りる。掴んだ先の岩がポロっとはがれ、岩のかけらはスピードを速めて落下していき、周りを巻き込むと粉碎し、土砂崩れのような音が響いた。川に辿り着いたものの、橋はない。標高を確認すると、1000m。橋があるのは600m。石を飛びこえ、岩を登り、岩を飛び降り、肩まである深さの水の中へ、全身ずぶ濡れになりながら下り、目的の橋までたどり着いた。

稲村岩までは、直線の1本道。しかし道迷いは、正しく歩かせてくれない。沢を歩く区間が短く、致命的な滝がなかったことが幸いした。「あれっ。おかしい」と思ったときに戻れないのが道迷い。冷静でなくなり、急斜面を進み滑落、遭難とつながるケースも多い。「冷静でなくなる」それが、道迷いである。気を付けたい。